

1. 妊産婦の適正な作業条件を見出すために、今回はこれまでに引続き授乳時の産婦の労働負担度を測定し、非妊時妊娠時授乳時の一連関係を調査することを目的とした。

2. 妊娠時と同様、Flicker test, Litmus for salivary reaction を授乳婦について、昭和37年12月から昭和38年8月迄、継続測定した。

3. Flicker Value は妊娠中期から末期に比べると授乳時は高い値を示しているが、変動率は小さい。然し週間の変動の傾向はやや同じである。

又唾液は概して授乳時において、妊娠時末期よりは酸性度が少なく、非妊時よりは酸性度に傾いている。但し非妊時の測定が同一人について、更に続けられねばならないと考える。

又 Dont counting 法による数値はバラツキが多く比較をすることが出来なかった。